

平成 29 年度全国学力・学習状況調査（4/18）の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としている。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である。

(2) 本県の調査実施校数、人数（公立小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校）

- ・小学校 6 年生：753 校 45,582 人
- ・中学校 3 年生：345 校 44,620 人

(3) 調査内容

- ア 教科に関する調査（国語、算数・数学）
- ①主として「知識」に関する問題（A）
 - ②主として「活用」に関する問題（B）
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ①児童生徒に対する調査
 - ②学校に対する調査

2 県の結果の公表後の対応

- 学力向上実践推進委員会において、全県的な成果や課題の分析を行い、課題に対する指導方法の工夫改善の方策を示す。
- 具体的な指導方法の工夫改善を冊子にまとめ、学力向上シンポジウムで周知を図り、学校、市町教育委員会の取組を支援する。
（学力向上シンポジウムの開催：平成 29 年 12 月 15 日（金）、西宮市民会館アミティホール）

3 本県（公立学校）の状況

(1) 教科に関する調査の状況

- 小学校・中学校の平均正答率の状況は下表のとおりである。
- 本県の平均正答率は、全国と比較して、いずれも±5%の範囲内にある。

〈平均正答率の状況〉 (%)

| | 教科等 | | 平成 29 年度（今回） | | | H28 年度 （全国比較） |
|-------------|-----|--------|--------------|----|----|------------------|
| | | | 本県 | 全国 | 比較 | |
| 小学校 6 年生 | 国語 | 知識 (A) | 75 | 75 | ±0 | ±0 |
| | | 活用 (B) | 57 | 58 | -1 | ±0 |
| | 算数 | 知識 (A) | 78 | 79 | -1 | ±0 |
| | | 活用 (B) | 46 | 46 | ±0 | ±0 |
| 中学校 3 年生 | 国語 | 知識 (A) | 78 | 77 | +1 | ±0 |
| | | 活用 (B) | 72 | 72 | ±0 | -1 |
| | 数学 | 知識 (A) | 68 | 65 | +3 | +4 |
| | | 活用 (B) | 50 | 48 | +2 | +2 |

※本県の結果については、公立大学法人となった兵庫県立大学附属中学校を除く。

(2) 児童生徒の学習や生活に関する意識の状況及び学校の指導の状況（抜粋）

①主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点による学習指導の改善に向けた取組状況

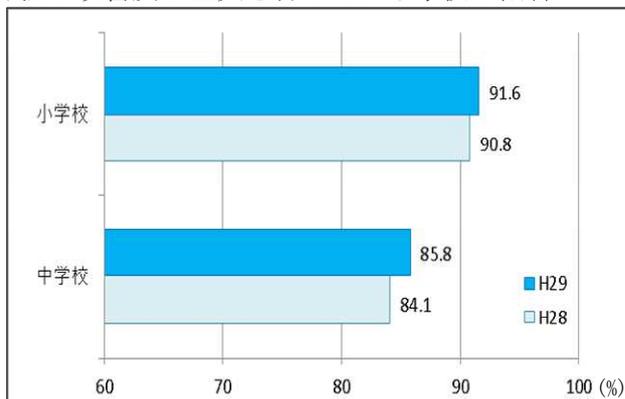
○習得・活用及び探究の学習過程を見通した学習過程や思考を深める発問の工夫等、指導方法に関する取組状況について、小・中学校とも増加傾向にある。（図ア・イ）

○授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことについて、肯定的な回答をしている学校の割合が増加しているが、6割程度に留まっている。

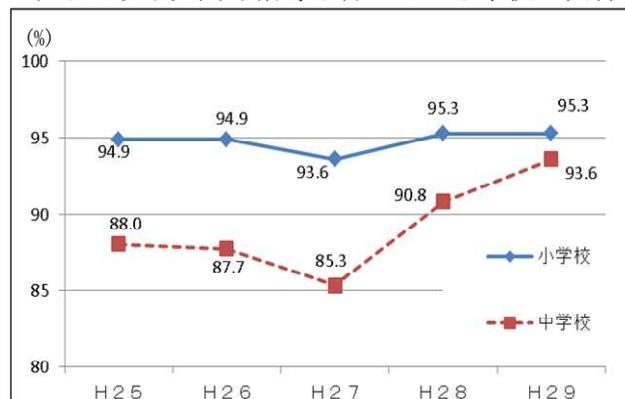
（図ウ）

○話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることについて、増加傾向にあるが、6割前後である。また、小学校の方が中学校よりもできているという割合が高い。（図エ）

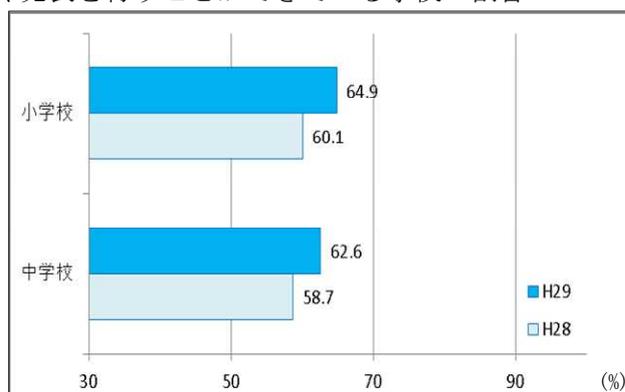
ア 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行っている学校の割合



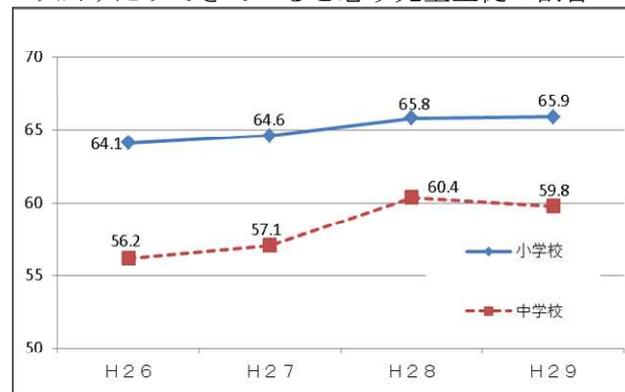
イ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている学校の割合



ウ 資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている学校の割合



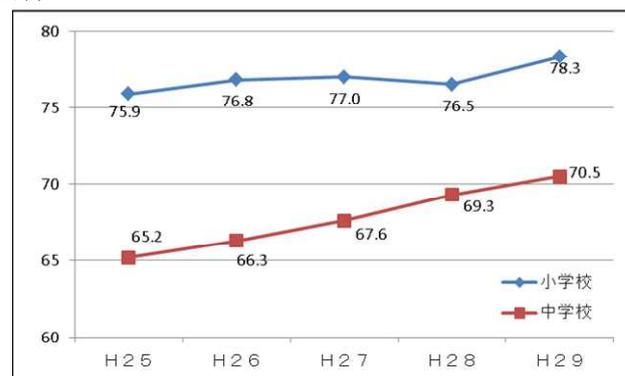
エ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできていると思う児童生徒の割合



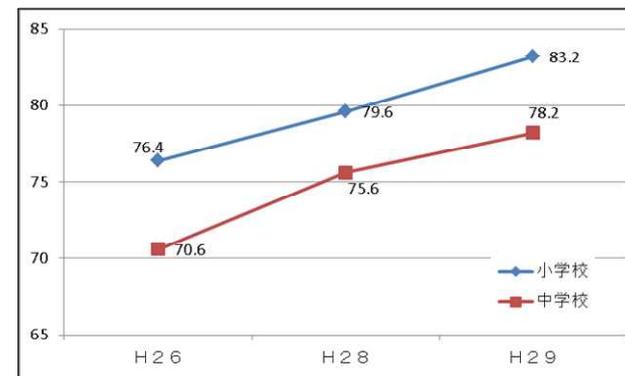
②児童生徒の自己肯定感に関する状況

○「自分にはよいところがあると思う」「先生は、よいところを認めてくれていると思う」など、自己肯定感に関する内容について、小・中学校とも増加傾向にある。（図ア・イ）

ア 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合



イ 先生は、よいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合



※グラフ中の数値は、いずれも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」など肯定的な回答の合計